

公表

事業所における自己評価総括表

| | | | |
|----------------|-------------|-----------|----------------|
| ○事業所名 | りあん粕屋教室（児発） | | |
| ○保護者評価実施期間 | 令和8年2月2日 | | ～ 令和8年2月20日 |
| ○保護者評価有効回答数 | (対象者数) | 34名(31世帯) | (回答者数) 28名 |
| ○従業者評価実施期間 | 令和8年2月2日 | | ～ 令和8年2月20日 |
| ○従業者評価有効回答数 | (対象者数) | 6名 | (回答者数) 6名 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 令和8年3月10日 | | |

○分析結果

| | 事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|---|--|---|
| 1 | ・出勤時間や送迎などで、情報共有、情報伝達する時間が少ない事から、日々の活動予定表、活動内容、振り返りを行う「活動予定表」を作成し、職員全員が共有している | ・「活動予定表」があることで、活動に偏りがないように、どの職員が行っても同様の活動が提供できるように工夫されている。 また、振り返りを日々行うことで、活動内容だけでなく、児童の様子も含め、次回に活かすような記録を行っている | ・個別支援計画と合わせて、個人の課題にあった内容を網羅できるように更に検討を重ねていく |
| 2 | ・幅広い年齢、職種の職員がいることで、専門的知見だけに頼らず、広域的な児童支援、保護者支援が出来る ・職員間の連携がとれている | ・職員会議での細かな情報共有。研修の実施。 | ・職員会議、研修を通して、更に専門的知識を増やしつづ、柔軟で幅広い支援を行うことが出来るようにする |
| 3 | | | |

| | 事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|--|-------------------|---|
| 1 | ・児童の状況により、個別での関わりや支援が必要な場合でも、職員配置の都合ですぐに、個別の支援が出来ないことがあるため、安定した職員配置が望まれる | ・人員不足 | ・安心して過ごせる環境、活動の提供を行い、限られた職員で安定した支援が出来るような工夫を検討していく |
| 2 | ・庭や園庭がないため、戸外での活動が少ない | ・構造上の問題 | ・運動器具などを用いて、幅広い運動活動を提案していく ・戸外活動を多く取り入れ、公園や散歩などの活動を提供していく ・安全に留意しながら、駐車場を活用し、活動に取り入れていく |
| 3 | | | |

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

| 事業所名 | 社会福祉法人 桜虹会 りあん粕屋教室（児発） | | | | | 90.3% | 公表日 | 令和 8年 4月 20日 | |
|------------------|---|-----|---------------|-------|-------|--|---|--------------|--|
| | 保護者数 | 回収数 | 回収率 | 利用児童数 | | | 34名 (31世帯) | 回収数 28 | |
| | 31名 | 28名 | 90.3% | | | | | | |
| | チェック項目 | はい | どちらとも いえない | いいえ | わからない | ご意見 | ご意見を踏まえた対応 | | |
| 環境・ 体制 整備 | 1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。 | 24 | 4 | | | ・お子さんの人数が増えてきている様に思いますので、もう少し広いスペースが確保できればいいです。 ・屋外スペースがあれば良い | ・屋外スペースに関しましては、戸外活動として公園や広場に行くなどして対応していきたいと思います。 | | |
| | 2 職員の配置数は適切であると思いますか。 | 15 | | | 3 | ・適切であると思います。 | | | |
| | 3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。 | 20 | 2 | | 6 | ・活動記録（スマホ）を見ていますと、子どもにわかりやすく構造化された環境だと思えます。また、事業所の設備等の配慮に関しましては、状況を見ながら変えていってもいいのかなと思えました。 | ・視覚的支援として、イラストやスケジュールボードなどを用いて、ひとりひとりの特性に応じて対応してまいります。 | | |
| | 4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。 | 27 | | | 1 | | | | |
| 適切な 支援の 提供 | 5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。 | 27 | | | 1 | ・満足しています。 ・子どもの苦手な事への支援を行っていただけており、親としてもフォローや伸ばしていくところが分かり助かっています。 | | | |
| | 6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。 | 25 | | | 3 | ・そう思います。 | | | |
| | 7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。 | 27 | | | 1 | | | | |
| | 8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。 | 25 | 2 | | 1 | ・文章の内容が難しく、“どちらともいえない”に○を付けてしまいました。具体的な支援内容が設定されていると思います。 | ・保護者様にも利用者様にもわかりやすく、丁寧な文章でお示しできるよう心掛けてまいります。 | | |
| | 9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。 | 25 | 3 | | | | | | |
| | 10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。 | 25 | | | 3 | ・運動や粘土遊びなど、毎回様々な活動があり、少人数だからこそできることで、保育園とはちがう工夫された活動をしているなと思います。 | | | |
| | 11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。 | 13 | 2 | 4 | 9 | | | | |
| 保 | 12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。 | 28 | | | | | | | |
| | 13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。 | 25 | 3 | | | | | | |
| | 14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。 | 10 | 4 | 2 | 12 | | | | |
| | 15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。 | 28 | | | | ・共通理解の心強さを知り、LINEをはじめ、送迎をしてもらう際、活動記録のお返事で伝え合う（伝えていく）ことを大切に、今後もやりとりしていきたいです。 | ・ご家庭でのお話を伺うことが出来、職員もさらに子ども理解につながっています。今後も、情報共有を行いながら、共通理解に繋げてまいります。 | | |
| | 16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。 | 24 | 3 | | 1 | ・話を聞いてもらう事や寄り添ってもらっていると感じています。 ・いつもその日の様子を細かく教えていただき感謝しています。 | | | |

| | | | | | | | | | |
|---------|----|--|----|---|---|----|--|--|---|
| 護者への説明等 | 17 | 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。 | 28 | | | | ・適切な対応をしていただいております。 ・毎回連絡帳にその日の様子や頑張った様子を書いていただき、それを読むのが楽しみになっています。 | | |
| | 18 | 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。 | 6 | 5 | 4 | 13 | ・普段の対応で毎日お忙しいかと思いますが、今後そういった交流があったら嬉しいです。りあんさんでの保育参観も体験してみたいです。 | ・今後、イベントや参観などの開催も、検討してまいります。 | |
| | 19 | 子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。 | 27 | | | | 1 | ・即対応して頂き、手厚い体制に「信頼感」の一言に尽きます。 ・通所日の変更等にもすぐに対応していただいております、大変ありがたいです。 | ・電話、LINE、連絡帳などの連絡ツールで相談に応じます。いつでもご連絡ください。 |
| | 20 | 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。 | 27 | | | | 1 | ・とても思う。 | |
| | 21 | 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。 | 22 | 2 | 1 | 4 | ・職員の方が負担にならない業務を行ってほしいです。 ・活動記録は写真があり、とても分かりやすいです。 | | |
| | 22 | 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。 | 28 | | | | | | |
| 非常時等の対応 | 23 | 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。 | 21 | 1 | 1 | 5 | ・事業所に任せっきり、頼りきりにしないで、私も状況に合わせて対応していきます。 | | |
| | 24 | 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。 | 19 | | | | 9 | ・避難訓練はとても覚えているようで、家でも話してくれます。 | ・定期的に災害を想定した訓練を行っております。 |
| | 25 | 事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。 | 26 | 1 | | | 1 | | |
| | 26 | 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。 | 25 | | | | 3 | ・事故がないということは、いつも安全に対応してくださっていると思います。ありがとうございます。 | |
| 満足度 | 27 | 子どもは安心感をもって通所していますか。 | 28 | | | | | ・家にいるような、素の本人だと思えます。 ・通所をはじめてから、保育園も「楽しい！」という事が増えて、イキイキしています。 ・笑顔が多い。 | |
| | 28 | 子どもは通所を楽しみにしていますか。 | 27 | | | | 1 | ・いつもりあんの日をとても楽しみにしているようです。 ・毎回楽しそうに通所し、いろいろ話してくれます。 ・本人のその日の気分・・・。車に乗るまでがとの事なので本人の課題ですね。 ・前日からとても楽しみにしています。 | |
| | 29 | 事業所の支援に満足していますか。 | 28 | | | | | ・いつも子どもに合わせた支援を行っていただき感謝しております。 ・先生方や環境が本人に合っているようで、楽しみながら活動できており、親としてはそれが何より嬉しいです。これからもよろしくお願ひします。 ・親子ともに、とても満足しています。いつもありがとうございます。 | |

公表 事業所における自己評価結果

| 事業所名 | 社会福祉法人 桜虹会 りあん粕屋教室（児発） | | 職員数 6名 | 提出数 6名 | 提出率：100% | 公表日 令和 8年 4月 20日 |
|---------|------------------------|---|-----------|-----------|--|--|
| | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点 | |
| 環境・体制整備 | 1 | 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。 | 6 | | | |
| | 2 | 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。 | 5 | 1 | ・利用定員としては適しているが、子どもの状況によっては、職員は足りないと感じる時がある。活動を工夫する事によって安全に活動ができるようにしている。 | ・利用児の年齢、特性の面で、ひとりひとりに寄り添った支援が難しい時もある。安全に、安心して過ごせるような、環境設定や活動提案を行いながら、支援をしていく |
| | 3 | 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。 | 6 | | ・活動の危険度をへらすため室内マットを導入できた ・イラストや写真などで収納場所を明確化。 ・パーテーションを利用して気が散りにくくように工夫している。 | ・入室時は、部屋を横切るような導線になっているので、今後、状況を見ながら、変更も検討していく |
| | 4 | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。 | 6 | | | |
| | 5 | 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。 | 4 | 2 | ・パーテーションで対応している ・同じ空間の中でパーテーションを使用。 ・クールダウンの部屋がない為、パーテーションを利用して対応している。 | ・同じ空間内でも、個別でクールダウンができるような毛布や教材なども検討していく |
| 業務改善 | 6 | 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。 | 6 | | ・活動を記録するノートで職員全員が活動の振り返りと今後の改善を共有する事ができている | |
| | 7 | 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 6 | | ・前年度の意見を元に、お出かけの回数を増やすなど、すぐに対応している | |
| | 8 | 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 6 | | ・朝の送迎前の時間や休憩時間に意見交換をして、活動や子どもたちへの関わり方に反映されていると思う。 ・月に1回の職員会議や毎日の活動記録の記入を行う事で共有している。 | |
| | 9 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。 | 5 | 1 | | |
| | 10 | 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。 | 6 | | ・職員会議の時に研修を実施している。 | ・内部、外部研修共に幅広く取り入れ、今後も知識、支援方法、子供理解の向上に努めていく |
| | 11 | 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。 | 6 | | | |
| | 12 | 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。 | 6 | | | |
| | 13 | 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。 | 6 | | ・毎月、会議の時間を確保できたことで検討できている | |
| | 14 | 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。 | 6 | | | |
| | 15 | こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。 | 6 | | | |

| | | | | | | |
|--------------|--|--|---|---|--|-------------------------------------|
| 適切な支援の提供 | 16 | 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。 | 6 | | | |
| | 17 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか。 | 6 | | | |
| | 18 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。 | 6 | | | ・毎日の活動を記録し、また月案に基づいて活動を考えている。 |
| | 19 | こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。 | 5 | 1 | ・個別活動が必要と思われる場合は、その時の利用児童、職員体制によって対応することがある。 | ・職員の配置人数の状況で、適宜、個別活動につなげる事が難しいことがある |
| | 20 | 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。 | 6 | | ・予定、振り返りをノートにて共有できている ・出勤時間が異なっていたり、送迎などで時間を取る事が難しいが、活動記録ファイルで共有している。 | |
| | 21 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。 | 6 | | ・予定、振り返りをノートにて共有できている ・勤務時間がバラバラで対面で話し合おう事は難しいが、活動記録で振り返りを共有している。 | |
| | 22 | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。 | 6 | | | |
| | 23 | 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。 | 6 | | | |
| 関係機関や保護者との連携 | 24 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。 | 6 | | | |
| | 25 | 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。 | 4 | 2 | | |
| | 26 | 併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。 | 6 | | | ・担当者会議や送迎時になどで保育園とも情報共有している。 |
| | 27 | 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。 | 6 | | | ・保護者からの要望があれば書面にして、学校への情報共有を行っている。 |
| | 28 | (28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。 | | | | |
| | 29 | 質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。 | | | | |
| | 30 | (自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。 | | | | |
| | 31 | (31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。 | | 6 | | |
| 32 | 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。 | | 6 | | | |
| 33 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。 | 6 | | | ・保育園への送迎の児童は保護者と接する機会が少ない。その都度、LINEなどで相談の対応を行っている。 | |

| | | | | | | |
|----------|--|--|---|---|------------------------------|--------------------------|
| | 34 | 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。 | 4 | 2 | | |
| 保護者への説明等 | 35 | 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。 | 6 | | | |
| | 36 | 児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。 | 6 | | | |
| | 37 | 「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。 | 6 | | | |
| | 38 | 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。 | 6 | | ・LINEや電話などを用いて、その都度相談に応じている。 | |
| | 39 | 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。 | | 6 | | ・今後、保護者の方のご希望も踏まえ、検討していく |
| | 40 | 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。 | 6 | | | |
| | 41 | 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。 | 6 | | | |
| | 42 | 個人情報の取扱いに十分留意しているか。 | 6 | | | |
| | 43 | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。 | 6 | | | |
| | 44 | 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。 | | 6 | | |
| 非常時等の対応 | 45 | 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。 | 6 | | | |
| | 46 | 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。 | 6 | | | |
| | 47 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。 | 6 | | | |
| | 48 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。 | 6 | | | |
| | 49 | 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。 | 6 | | | |
| | 50 | 子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。 | 5 | 1 | | |
| | 51 | ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。 | 6 | | | |
| | 52 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。 | 6 | | | |
| 53 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。 | 6 | | | | |